

平成 30 年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成 30 年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検
討会は、平成 30 年 11 月 12 日(月)にホテルラングウッド
において開催された。

この検討会には、試験場関係者 20 名、委託関係者 41 名
ほか、計 70 名の参集を得て、除草剤 5 薬剤 (33 点)、生育

調節剤 5 薬剤 (21 点) について、試験成績の報告と検討が
行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に
示す通りである。

平成 30 年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. HPW-115 顆粒水溶 アシュラム:82% [保土谷UPL]	コウライ シバ	雑草発生初期(メヒシバ3L以内)	継	継) ・効果、薬害の確認(コウライシバ、ノシバ)
	コウライ シバ	雑草生育期, 多年生イネ科		
	ノシバ	雑草発生初期(メヒシバ3L以内)		
	ノシバ	雑草生育期, 多年生イネ科		
3. SB-201 乳 メチオゾリン:25% [エス・ディー・エス パイ オテック]	コウライ シバ	雑草発生前, 散布水量拡大	実・継	実)[春夏作;(コウライシバ)メヒシバ] ・芝生育期, 雑草発生前 ・0.2~0.3 mL<200-300mL>/m ² 0.3~0.4mL<200-600mL>/m ² ・土壌処理(全面) [春夏作;(ベントグラス)メヒシバ] ・芝生育期, 雑草発生前 ・0.3~0.4mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理(全面) [春夏作;(ベントグラス,)メヒシバ] ・芝生育期, 雑草発生前 ・0.2mL<200-300mL>/m ² 2回 ・土壌処理(全面) 注)散布間隔は1ヶ月程度を目安とする。 [春夏作;(ベントグラス)スズメノカタビラ] ・芝生育期, 雑草生育期 ・0.2~0.3mL<200-300mL>/m ² 2回 ・0.4mL<200-300mL>/m ² ・茎葉兼土壌処理(全面) 注)0.2~0.3mL<200~300mL>2回処理の散布間隔は 1ヶ月程度を目安とする。 [春夏作;ケンタッキーブルーグラス)一年生イネ科雑草] ・芝生育期, 雑草発生前 ・0.2mL<200-300mL>/m ² 2回 0.3~0.4mL<200-300mL>/m ² ・土壌処理(全面) 注)散布間隔は1ヶ月程度を目安とする。
	ケンタッ キーブ ルーグ ラス	雑草発生前, 散布水量拡大		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
4. SB-3651 顆粒水和 チウラム:30% テトラクロロイソフタロ ニトリル(TPN):50% [エス・ディー・エス パイ オテック]	ベントグ ラス	藻類発生初期	実・継	実) [(コウライシバ)藻類] ・芝生育期, 藻類発生前 ・2g<500mL>/m ² 3回 ・土壌処理(全面) 注) 散布間隔は2週間を目安とする [(ベントグラス)藻類] ・芝生育期, 藻類発生前 ・2g<200~500mL>/m ² 2~3回 ・土壌処理(全面) 注) 散布間隔は2週間を目安とする ・芝生育期, 藻類発生初期 ・2g<500mL>/m ² 1~2回 ・土壌処理(全面) 注) 散布間隔は2週間を目安とする
	ベントグ ラス	コケ類発生前		継) ・コケ類発生前での効果薬害の確認 (ベントグラス) ・連用試験での確認(コウライシバ, ベントグラス) ・実証試験での確認(コウライシバ, ベントグラス) ・萌芽期薬害の確認(コウライシバ)
5. SW-989(L) 液 エンドタールニカリウム 塩:2.11% [三井化学アグロ]	ケンタッ キーブル ーグラス	スズメノカタビラ生育期	実・継 従 来 通 り	実)[春夏作;(ベントグラス)スズメノカタビラ] ・芝生育期, スズメノカタビラ生育期 ・1~2mL<100mL>/m ² 6回 ・茎葉処理(全面) 注) ・散布間隔は2週間が目安 ・一時的に変色する 継) ・3回処理でのスズメノカタビラに対する効果の確認 (ベントグラス) ・効果薬害の確認(ケンタッキーブルーグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス) ・高温期薬害の確認(ベントグラス)

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. ALF-0614 フロアブル テトラコナゾール : 12.0% フルオキサストロビン : 20.0% [アリスタライフサイエ ンス]	ベントグ ラス	夏の高温期の根部衰退軽減効果の 検討	実・継	実) [春夏作;(ベントグラス)夏の高温期の根部衰退軽減] ・芝生育期 ・2000倍<500mL/m ² > 2回 散布間隔は30日を目安 ・散布 継) ・倍量薬害試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス)

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
2. BAF-1504 WDG 顆粒水和 ピラクロストロビン:6.8% ボスカリド:13.6% [BASFジャパン]	ベントグ ラス	夏の高温期の根部衰退軽減効果の 検討	実・継	実) [春夏作; (ベントグラス)夏の高温期の根部衰退軽減] ・ 芝生育期 ・ 200倍<100mL/m ² > 1~2回, 1000倍<500mL/m ² > 1~2回 散布間隔は30日を目安 ・ 散布 継) ・ 1500倍処理での効果葉害の確認(ベントグラス) ・ 200倍<100mL/m ² >処理での効果葉害の年次変動の 確認(ベントグラス) ・ 倍量葉害試験での確認(ベントグラス) ・ 実証試験での確認(ベントグラス)
	ベントグ ラス	夏の高温期の根部衰退軽減効果の 検討(反復処理)		
3. BYF-1502 顆粒水和 ホセチル:60% [バイエルクロップサイエ ンス]	ベントグ ラス	ベントグラスの根の伸長および発 根促進	継	継) ・ 効果, 葉害の確認(ベントグラス)
4. MBF-162 顆粒水和 ピラクロストロビン:5.0% フルキサピロキサド:4.0% [丸和バイオケミカル]	ベントグ ラス	夏の高温期の根部衰退軽減効果	実・継	実) [春夏作; (ベントグラス)夏の高温期の根部衰退軽減] ・ 芝生育期 ・ 100倍<100mL/m ² >2回, 500倍<500mL/m ² >2回 散布間隔は30日を目安 ・ 散布 継) ・ 倍量葉害試験での確認(ベントグラス) ・ 実証試験での確認(ベントグラス) ・ 100倍<100mL/m ² >での効果葉害の年次変動の確認
5. NC-224 顆粒水和 (旧表示ドライフロアブル) アミスルプロム:50% [日産化学]	ベントグ ラス	夏期の高温時の根部衰退軽減効果 の検討	実・継	実) [春夏作; (ベントグラス)夏の高温期の根部衰退軽減] ・ 芝生育期 ・ 2000~4000倍<500mL/m ² > ・ 散布 継) ・ 倍量葉害試験での確認(ベントグラス) ・ 実証試験での確認(ベントグラス)